

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、7～18℃台を示し、平年並みの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網——月夜間とシケの為、出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の45%（前年を上回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり92kgの水揚げで、前週の65%（前年並み）。壱岐勝本地区では1日当たり189kgの水揚げで、前週の14%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり3kgの水揚げで、前週の60%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり2kgの水揚げで、前週の11%（前年を下回った）。
- 定置網——五島有川地区では、マサバなどが1日1統当たり67kgの水揚げ。五島魚目地区では、ヨコワなどが1日1統当たり152kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり68kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり197kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり72kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり23kgの水揚げで、前週の61%（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/31～2/3の4日間）沖合イカ釣（船凍船）は、佐渡沖等で操業、八戸入港船は、対馬沖向け出港。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖で操業。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>